

2. 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム「ゆうゆう」

作成日 令和 4年 1月 20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	介護の重度化で、寝たきりや看取り・終末期医療が予測される入居者に対し、本人・家族の意思・意向を確認し、医師や看護師を交えて具体的な対応を話し合い、希望に沿った支援を前向きに検討している。しかし、その対象者に馴染みの深い地域の関係者等を交えた支援には至っていない。	終末期等を迎えた際の入居者とその家族に「看取り介護（終末期介護）指針」に基づく看取りや終末期医療について説明し、その思いや意向を尊重しながら多職種・地域関係者で共有・支援する。	治療にて改善が困難な状態・老衰状態等と主治医が診断した際に、本人・家族へ看取りや終末期医療についての説明を再度行う。その際に、本人・家族の思いや意向を第一に尊重しながら、地域の関係者（例※なじみの深い民生委員等）にも同席を依頼し、チームで今後の方向性を共有・支援していく。	<p>■本人・家族をはじめ、専門職や地域関係者と支援の方向性の共有・決定 ⇒主治医の診断により看取り対象となった方を実践するまでの期間</p>
2	8	入居者に権利擁護事業等が必要になった際に、備えた学習ができておらず施設職員全体として知識の乏しい状態がみられる。	入居者で日常生活自立支援事業や成年後見制度が必要となった場合でも、施設全体として知識を備え専門機関と円滑に連携・支援できるようにする。	施設全職員を対象に、高齢者を中心とした権利擁護関連の勉強会を開催する。	<p>■1年間 ※施設年間研修計画に組み込む</p>
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。